

# 大阪大学(全国ネットワーク中核機関(群))

協働機関:東京農工大学、日本アイ・ビー・エム株式会社

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ  
実施期間:H30年~R5年

## 【実施体制】

「地域に生き世界に伸びる」をモットーとし、産学官共創を展開する国立大学法人大阪大学は、国立大学法人東京農工大学(以下「東京農工大学」と記す)および日本アイ・ビー・エム株式会社(以下「日本IBM」と記す)を協働機関とし、日本学術会議の関連諸委員会の協力を得て、女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む機関をつなぐ全国ダイバーシティネットワークを構築する。

## 【特長】

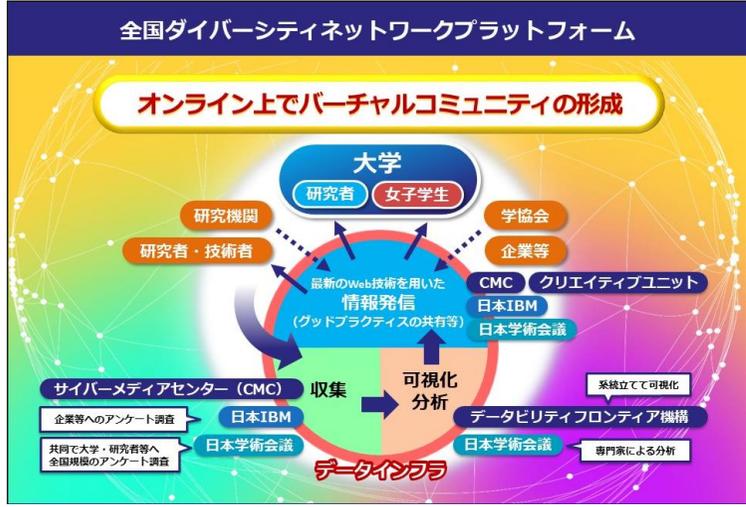
### 1.全国ダイバーシティネットワーク組織の構築

- ・全国を8ブロックに分け、地域の特性に応じた活動展開をする。
- ・それぞれのブロックに幹事大学を置き、8ブロックにおける活動の活性化、ブロック間の情報共有を図ることを目的に各ブロックの幹事大学が一堂に会する「幹事会」を開催し、フェイス・トゥ・フェイスで事例や課題の共有を図る。
- ・国立大学のみならず公立私立大学等にも参加を呼びかけ、全国ダイバーシティネットワーク組織の拡充を図り、女性研究者支援のノウハウと各大学等のグッドプラクティス等の情報共有を全国へ展開する。

### 2.全国ダイバーシティネットワークプラットフォームの構築

- ・ウェブサイトを活用することにより、大学、研究機関、企業等の機関のみならず、個々の研究者・技術者等にも開かれた「全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム」を構築し、将来的に自立した活動を行う全国ネットワークの構築をめざす。

## 【体制の概要】



## 【取組概要(目標)】

### 1. 「全国ダイバーシティネットワーク組織」の構築

- ・全国8ブロックにおける活動の活性化、ブロック間の情報共有を図ることを目的に、各ブロックの幹事大学が一堂に会する幹事会を開催する。
- ・幹事会を通じて、研究者のライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の改善やそれに向けた機関内の意識改革、各種有効な取組等の情報共有を図る。
- ・幹事大学等のリーダーシップのもと、「全国ダイバーシティネットワーク組織地域ブロック会議」を開催し、参画機関とともに、地域の特性にあわせた取組等を行い、「全国ダイバーシティネットワーク組織」を通じて全国展開を図る。

### 2. 「全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム」の構築

- ・ウェブサイトを開設し、グッドプラクティスを始めとする国内外の有益な取組やアンケート調査の結果等の情報発信を行う。
- ・将来的な自立化に向けた運営体制、コンテンツの整備を図る。

### 3. 国内外の動向調査等の取組

- ・日本学術会議の関連諸委員会と連携して、すべての大学・研究機関を対象に実態調査を実施する。また、男女共同参画に関する研究者対象のアンケート調査を実施する。
- ・日本IBMを中心に、女性活躍促進に係る企業アンケートを実施する。
- ・アンコンシャス・バイアスを含む意識改革等に向けたセミナーの開催や国内外調査等を行い、ウェブサイトを通して情報発信する。

### 4. 全国的なネットワークの連携強化を図るシンポジウムの実施

- ・全国の関係諸機関が参加する「全国ダイバーシティネットワークシンポジウム」を開催し、全国ダイバーシティネットワークの構築および参画機関の連携強化を図るとともに、情報・課題の共有ならびに参画機関のさらなる増加を図る。
- ・地域ブロック会議主催のシンポジウムやセミナー等を開催する。
- ・日本学術会議と大阪大学(全国ダイバーシティネットワーク幹事機関)の共同主催で関係諸機関・団体等が参加する「学術フォーラム」を開催し、アンケート調査の分析結果の共有を図る。

## 全国ダイバーシティネットワーク組織・幹事会



全国ダイバーシティネットワーク組織 地域ブロック・幹事大学等一覧	
ブロック	幹事大学等名 (2019年度)
北海道ブロック	北海道大学、室蘭工業大学
東北ブロック	東北大学、山形大学、岩手大学
東京ブロック	東京農工大学(副代表幹事)、 東京大学、お茶の水女子大学
関東・甲信越ブロック	筑波大学、新潟大学、千葉大学
東海・北陸ブロック	名古屋大学、金沢大学
近畿ブロック	大阪大学(代表幹事)、京都大学、 神戸大学、立命館大学
中国・四国ブロック	岡山大学、広島大学、 徳島大学、愛媛大学
九州・沖縄ブロック	九州大学、長崎大学、宮崎大学

## 全国ダイバーシティネットワークの連携を図るシンポジウム

全国ダイバーシティネットワーク組織・大阪大学シンポジウム

### 「挑戦する女性が拓くダイバーシティ時代へ」

2019年2月7日 14時～16時30分 於：大阪大学会館 講堂

参加者  
390名

- 【挨拶】 渡辺 その子氏 (文部科学省)  
相澤 益男氏 (科学技術振興機構)
- 【基調講演】 村木 厚子氏 (大阪大学 招へい教授)  
「ダイバーシティの実現が組織を強くする」
- 【講演】 西尾 章治郎 (大阪大学 総長)  
「全国ダイバーシティネットワーク構築に向けて」  
曾和 信子氏 (日本アイ・ピー・エム株式会社)  
「ダイバーシティ推進における企業から大学への期待」  
三成 美保氏 (日本学術会議・奈良女子大学)  
「ダイバーシティ推進に向けた日本学術会議の取組と課題」

【8ブロック行動目標発表】  
地域から全国へ 地域ブロックごとの行動目標



「シンポジウム実施報告書」を作成し配布。ウェブサイトでも公開。

## 【広報関係】

### ①男女共同参画局メールマガジン[内閣府]

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

### ②マナビィ・メールマガジン[文部科学省]

(生涯学習関連情報)

<http://www.mext.go.jp/magazine/backnumber/1263046.htm>

①②を活用して全国ダイバーシティネットワーク組織の取組について広報を行う。

### ③初中教育ニュース[文部科学省]

(初等中等教育局メールマガジン)

<http://www.mext.go.jp/magazine/backnumber/symel.htm>

③を活用して女子小中高生向けの取組について広報を行う。

## 【お問合せ】

機関名: 大阪大学男女協働推進センター

所在地: 大阪府吹田市山田丘1-1

連絡先: TEL 06-6105-6059

HP: **【全国ダイバーシティネットワークOPENeD】**

<https://www.opened.network/>



The screenshot shows the homepage of the National Diversity Network (OPENeD). The layout includes a top navigation bar with 'Home', '新着情報', and 'トピックス'. The main content area features a large blue graphic of Japan with the text '全国ダイバーシティネットワーク OPENeD' and 'Progressive Initiatives of Empowering Network for Diversity'. Below this, there are sections for '「全国ダイバーシティネットワーク」とは' and '「全国ダイバーシティネットワーク」の構築'. The right sidebar contains a grid of activity reports with dates and titles, such as '2019年6月3日(月) 第1回幹事会' and '2019年2月7日(木) 第1回幹事会'. The footer includes a search bar, a link section, and copyright information: 'Copyright © OPENeD'.